

# シリーズ 景観53

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

『みんなで残したい松江の景観400選集』から  
景観審議会が特にお薦めする景観

## か も す 神魂神社本殿

No. 288

「出雲大社と同じ大社造という形式ですが、様式的には大社より古く、出雲国造家発祥の地といわれる大庭にあることに意味があります」と推薦いただきました。

神魂神社は、通称「大庭の大宮さん」とよばれ、意宇六社の一つに数えられる格式の高い神社です。社殿は、安土桃山時代の天正11年（1583年）に再建されたものであり、大社造としては現存する最古のものとして国宝に指定されています。

社伝によれば、この神社を造つたのは天照大神の第二子、天穂日命とされ、「この地に天降ると、出雲の守護神として伊弉册大神を祀つた」のが始まりであるといわれています。本殿の千木の先端が水平に切つてある、内削みであることも、祭神が女神であることを示しています。

※意宇六社…かつての意宇郡（おこのこおり）現在の松江市の大橋川南部および安来市にあたり、宍道町・広瀬町の一部を除く）に鎮座する神社のうち、熊野大社、真名井神社、六所神社、八重垣神社、神魂神社、摺夜神社の六社。



「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。

【問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選

検索